

楽しむ、学ぶ。キャンパスマガジン

日本大学法学部ジャーナル

Journal

vol.20

2017 February ◯ April

特集

法学部における キャリア教育と就職支援

公務員編

法学部の公務員試験支援の取り組み
公務員試験合格者のリアル体験談
法学部OB・OGインタビュー

4年生公務員試験合格者の皆さん

Journal

特集 法学部におけるキャリア教育と就職支援

公務員編

2017 vol.20 February ◯ April

日本大学法学部 Event Schedule 2月~4月

就職指導課 エクステンションセンター 教務課 学生課 研究事務課
図書館事務課 入学センター

2
February

- 2月4日(土) 法学部就活セミナー(法学部校友会共催) [就]
- 2月13日(月) 就職活動直前ガイダンス [就]
- 2月13日(月) グループディスカッション講座 [就]
- 2月14日(火) 就職筆記試験直前ガイダンス [就]
- 2月15日(水) 面接対策実践編 [就]
- 2月15日(水) 業界別個人模擬面接 [就]
- 2月21日(火) 内定者相談会 [就]

- 2月9日(木) 4年次生成績発表・再試験手続き [就]
- 2月22日(水) 追試験(1~4年次生)・再試験(4年次生) [就]
- 2月25日(土) 定期無料法律相談会 [就]
- 2月28日(火) 日本大学法学部海外研修旅行(春期・ヨーロッパ) [就]

3
March

- 3月9日(木) 日本大学合同企業研究会・就職セミナー(全学部合同・東京国際フォーラム) [就]
- 3月11日(土) 法学部合同企業研究セミナー [就]
- 3月上旬~下旬 法学部企業研究セミナー [就]

- 3月10日(金) 学内学会・研究所合同研究会 [就]
- 3月11日(土) 平成29年度転部(第一部・第二部間)・転科選考合格発表 [就]
- 3月18日(土) 付属高等学校等生徒対象ミニオープンキャンパス [就]
- 3月25日(土) 日本大学卒業式・学位記伝達・卒業記念祝賀会 [就]

4
April

- 4月中旬 キャリアプランガイダンス [就]
- 課外講座合同資格説明会 [就]
- 課外講座説明会(公務員講座、法律分野講座、会計分野講座、就職対策講座) [就]
- 学生研究室説明会(司法科研究室、司法書士科研究室、税理士科研究室、弁理士科研究室、行政科研究室、公認会計士科研究室) [就]
- 4月下旬 公務員業務説明会 [就]


- 4月1日(土) 開講式・新入生ガイダンス [就]
- 4月3日(月) 学生定期健康診断 [就]
- 4月8日(土) 入学式(日本武道館)
- 4月10日(月) 平成29年度前学期授業開始 [就]
- 4月17日(月) 履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目) [就]
- 4月上旬 日本学生支援機構奨学金予約採用者説明会 [就]
- サークル新入部員募集 [就]
- 新入生歓迎会 [就]
- 日本学生支援機構奨学金在学採用者説明会 [就]
- 図書館オリエンテーション [就]

※各項目についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。
[就] 就職指導課 [エ] エクステンションセンター [教] 教務課 [学] 学生課 [研] 研究事務課 [図] 図書館事務課 [入] 入学センター

Information

3月25日(土) 日本大学卒業式・学位記伝達・卒業記念祝賀会

卒業式(日本武道館)、学位記伝達(三崎町キャンパス)の終了後、法学部の卒業記念祝賀会をホテルグランドパレスにて盛大に行います(事前申込制)。学生生活最後の締めくくりにぜひ御参加ください。



特集

法学部におけるキャリア教育と就職支援 —公務員編—

法学部の就職支援を特集する2号連続企画。「民間企業編」に続く第2弾は「公務員」にスポットを当てます。公務員を目指す学生が集まる公共政策学科の正課の授業やインターンシップなどの取り組みを中心に、正課プラスαとなる課外講座「公務員講座」、公務員試験合格を目標とする学生研究室「行政科研究室」などを紹介。すべてに教職員、OB・OGが現役生をバックアップする法学部伝統の“面倒見の良さ”が息づいています。4年生の公務員試験合格者、現役公務員のOB・OGインタビューも交え、法学部の充実した支援体制をお伝えします。



エクステンションセンター
運営委員会委員長

福島康仁 教授

法学部公共政策学科、大学院法学研究科教授。専門は地方自治論、行政学。都市政策、地方自治論、行政学、行政実務演習（インターンシップ）、ゼミナールなどを担当。課外講座、行政科研究室の統括責任者も務める。杉並区NPO等活動推進協議会会長、日本政治学会理事、日本オンブズマン学会理事など。

「公務員講座」「行政科研究室」「就職指導課・エクステンションセンターの支援」の詳細はP4・5でご紹介しています。

正課の授業や課外講座などで 公務員試験合格を全力バックアップ

法学部では公共政策学科を中心に公務員試験合格に向けた様々な手厚いサポート体制を整えています。公務員を志望する学生は誰でも課外講座などでしっかり勉強できます。

エクステンションセンターで運営している課外講座「公務員講座」は、2年生の入門コースから4年生の直前コースまで毎年約300名の学生が受講しています。公務員の大手予備校と提携しているので、予備校と同等の講座を学内で受けられるうえ、受講料も外部の予備校と比べると1割程度とたいへん安価です。年数回の模擬試験も無料で受けられます。また、公務員試験に精通した職員が公務員試験についての様々な相談に乗ったり、面接試験対策も個別に親身になって行っています。OB・OG就職相談会では先輩から直接話を聞くことができます。

学生研究室には難易度の高い公務員試験合格を目指す「行政科研究室」があります。入室試験の成績優秀者には専用の固定席やロッカーが貸与され、集中して勉強することもできます。

「インターンシップ」は、就職指導課で公募の紹介や相談があります。また、公共政策学科の行政職課程では単位認定の必修科目で、国や自治体の提携先が30件近くあり、毎年一定人数が実施しております。公共政策学科では1年生から授業で徹底的に教育してから送り出すので、インターンシップ先での評判もとてもいいんですよ。「行政ボランティア」なども1年生で体験できます。

公務員になろうという志があれば、わざわざ予備校に行かなくても、法学部には費用対効果が極めて高い充実したプログラムが揃っています。あとは、学生本人のやる気次第。ぜひ、おおいに活用して夢を実現してください。

新任挨拶

公務員という仕事の魅力

公共政策学科 上村進 教授

私は34年間、公務員として働き、行政不服審査法、行政機関個人情報保護法の改正などに携わってきました。自分の経験を振り返ってみても、国民の生活に大きな影響を与える法律・制度や政策づくりを担当することができるのは、他の仕事にはない醍醐味だと思います。

また、国も自治体も、公務員の仕事は、まちづくり・福祉・教育・文化・観光・防災など非常に幅広い分野にわたっています。その職務内容にもビジョン策定から、政策のプロモーション、官民一体となったプロジェクトの推進など、様々なものがあり、必ず皆さんの興味・適性に合ったキャリアを築いていける職種だと考えています。

何より、公務員という集団は、「自分の国や地域を少しでも良くしよう」という思いの下、自分の仕事をどう進めていけばよいか、日々考え、努力を続ける人たちの集まりです。

公務員OBとして、一人でも多くの皆さんが、このような公務員の道を選ばれることを心から願っています。



上村進 (かみむら すずむ)
1959年生まれ。
1982年行政管理庁(当時)入庁。
総務省行政管理局長を経て、
2016年10月より法学部公共政策学科に着任。
現代行政論、行政組織論、情報通信政策等を担当。

Contents

2 [特集]

法学部における キャリア教育と 就職支援 —公務員編—

エクステンションセンター運営委員会委員長
福島康仁 教授

公共政策学科 上村進 教授

4 Chapter 1

公務員試験合格に向けた 法学部の教育と支援の取り組み 岩井義和 専任講師

課外講座「公務員講座」
行政科研究室
就職指導課/エクステンションセンター

6 Chapter 2

就職内定者座談会

—現役4年生の公務員試験合格者体験談—
濱川 昂さん(衆議院事務局)
太田悠介さん(千葉市役所)
佐巻紗衣さん(東京国税局)
増田美月さん(練馬区役所)

8 Chapter 3

法学部OB・OG インタビュー

辻本裕之さん(総務省大臣官房秘書課)
梶 雅人さん(東京都庁)
高麗雄一朗さん(横浜市役所)
芳賀奈津美さん(郡山市役所)
平居梨沙さん(高崎市役所)

10 Information

～保護者の皆様へ～

保護者の皆様からの 就活Q&A —公務員編—

平成28年度法学部保護者懇談会
海外学術交流提携校情報
(ベルリン自由大学、ウィーン大学)

12 日本大学法学部

Event Schedule (2月~4月)



↑子育て支援課でカレンダー作り、子ども教室の手伝い(東松山市役所)→文化財調査センターで取材、インターンの成果発表も(所沢市役所)

10日間の公務員インターンシップでは、窓口業務だけでなく、様々な部署で仕事をします。

公務員を志す学生が集まる公共政策学科では、公務員試験合格に向けて独自の様々な取り組みを行っています。なかでも行政職課程では3年生の「行政実務演習(インターンシップ)」が必修となり、公共政策学科が提携している自治体に毎年受け入れていただいています。正課ですら単位になります。公務員のインターンシップは、公募で行くのはなかなか競争率が高いのですが、提携している自治体が多くあるの

**公務員のインターンシップ
公共政策学科(行政職課程)は
正課の必修科目として実施**

法学部は正課以外にも公務員試験の様々なサポート体制が整っています。課外講座や無料の模擬試験、就職指導課の支援行事など、最新情報は教員にも随時入ってきますので、〇日に模擬試験があるとか、OB・OG相談会が

課外講座や就職指導課もフルに活用してほしい

我々がいつも言うのは、大人の社会科見学ではないということ。高い意識と目標を持って臨んだ学生は、公務員の責任感や自分に足りないものに気付いて本当に大人になって帰ってきます。

インターンシップ先を決める際は教員が面接をしますし、行き先が決まったら、その自治体についてしっかり調べて事前レポートを提出、教員が何回も添削します。学生が行っている間に教員が先方に行って状況を聞いたり、帰ってきてからも事後レポートを書くことを課題とし、これも添削します。

まず1年生の「公共政策基礎演習」で、現職の公務員の方を招いたり、グループワークをして、公務員の現実を知ってもらいます。公務員は安定していると、定時で帰れるというイメージで志望する学生もいますが、今の公務員はまったく違う。そういった「意識付け」を1年生のうちから授業で徹底的に叩き込んで、マナーや言葉使いも学ばせてから送り出すのです。

が強みです。そして、法学部の代表として行くわけですから、きちんと教育をして送り出します。

あるとか、行政ボランティアの募集がきているなどの情報を、あえて授業中に学生に伝えることにしています。その方が学生のためになると思いますし、学部全体でバックアップしているからです。ですから学生の皆さんには、それらをフルに活用してほしい。大学をとにかく使ってみてほしいと思います。

また、公務員は女性働きやすい職場です。社会の模範として育児休暇なども整っていますので、女子学生にぜひ目指してほしいですね。

公務員は社会を見て、社会のために働く仕事なので、大学時代は社会を多角的に見る目を養ってほしい。自分のアンテナを磨いて、いろんな経験をすることが将来につながるはず。

岩井義和 専任講師
公共政策学科専任講師。専門は行政広報、行政学、行政管理。行政学、公共政策基礎演習、専門研究、行政広報論、行政管理論、行政管理研究、セミナーを担当。インターンシップや行政科研究室にも力を注ぐ。



社会に貢献する公務員を一人でも多く送り出す 公務員試験合格に向けた 法学部の教育と支援の取り組み

国や地方自治体で公共のために仕事をする責務を負う公務員。近年は社会システムの変容により、民間のような幅広い手法を求められ、高い意識が必要となっています。そんな「新しい公共の担い手」を一人でも多く輩出すべく、学生の公務員試験合格に尽力する法学部の取り組みを、公共政策学科の岩井義和専任講師に伺いました。

**公務員試験の科目が
法学部には揃っている**

公務員というのは法律を基礎として成り立つので、法学部では昔から公務員になる学生が多いんですね。行政学や憲法、経済学など、公務員試験科目のほとんどが法学部にあります。公共政策学科だけでも、国家公務員や地方公務員の受験モデルを作れるくらいの科目を網羅しています(下図参照)。あくまで例ですが、法律や行政のほか、経営学などの科目も学んでいきます。大学の正課の授業ですから、公務員予備校の試験対策用の授業とは違い、理論から着実に学んでいきます。

「公共政策基礎演習」「行政実務演習」は公共政策学科に特化した科目ですが、多くの科目は学部生なら履修できます。ですから他学科の学生も、正課の科目や課外講座などを利用して公務員を目指す環境が揃っているんですね。

試験関連科目以外にも「警察政策」「消防政策」など、公務員になった後でも通用する特色ある科目も置いてあります。警察政策は警察官僚の方を招いています。消防政策は、おそらく全国でまだここにしかないと思います。

■地方公務員上級試験等受験モデル(公共政策学科)

※試験科目については受験する都道府県、政令指定都市の人事委員会の発表を確認してください。

1年	2年	3年	4年		
公共政策論 法学I 政治学I・II 経済学I・II 現代行政論I・II 経営学I・II 公共政策基礎演習 行政学I・II 心理学I・II 教育学I・II	公務員制度論 政治学原論 日本政治史I・II 西洋政治史I・II 国際文化論 マクロ経済学I 経済史 刑法I	行政法I 民法I 民法II 民法IV 商法I 税法I 知的財産権法A I 専門演習	政策法務論 政策評価論 行政管理論 行政組織論 地方自治論I・II 社会政策論I・II 地域政策 公共経済学I・II 社会保障論I・II 社会情報システム論 国際政治学I・II	国際関係論I・II 財政学I・II 国際経済論I・II 行政法II 商法II 地方自治法I・II 民法III 国際関係法 [公法系]A I 行政実務演習	行政広報論 比較行政論 労働事情 人材マネジメント論I・II 地方財政論I・II 公会計論 ガバナンス論 ソーシャルキャピタル論
ゼミナール、専門演習					

正課外の 公務員試験バックアップ

公共政策学科を中心にした正課の取り組みに加え、法学部では全学科の学生が利用できる様々な支援を行っています。公務員予備校にダブルスクールしなくても大学内で格安で受けられる公務員講座、担当職員が親身になって応じてくれる面接カードの添削や模擬面接など、充実したバックアップ体制を整えています。

課外講座「公務員講座」

外部の予備校に行かなくても
学内で格安で受講できる!!

公務員試験の大手予備校と提携した講座を大学内で夕方から開講。しかも受講料は基礎コース(約8か月、176コマ)で2万円、その他のコースは1万円(教材費別途)。2年生で入門コース→春期集中教養コース、3年生で基礎コース→直前コースと継続して受講するとより効果的だ。

入門コース (おもに2年生、1年生も可)

2年生や初学者向け。無理なく確実に基礎力を養成。数的処理や経済を中心に学習。(開講:5~12月)

春期集中教養コース (おもに2年生、1年生も可)

数的処理と教養科目の基礎力の習得。3年生での本格的な試験対策の準備に最適。(開講:2~3月)

基礎コース (3年生)

数的処理を中心に、教養科目、専門科目を網羅。論文対策や論文の添削も行う。(開講:5~12月)

直前コース (前期:3年生、後期:4年生)

前期は演習科目を中心に人物試験対策も行う。後期は本試験直前の要点整理と出題傾向の完全攻略。(開講:前期2~3月、後期4~5月)

警察官・消防官直前コース (3年生)

警察官、消防官試験の直前総まとめ講座。教養科目の演習、模擬試験も実施。(開講:2~3月)

課外講座、行政科研究室の問い合わせ:
エクステンションセンター
(10号館2階) ※4月に各説明会あり。

行政科研究室

大学内に自分専用の固定席を確保できる

公務員試験合格を目標とした学生研究室。入室試験の成績優秀者は新5号館の研究室に自分の机やロッカーが与えられ、学内に集中して自習できるスペースが確保できる。入室向けの講座を1年生から無料で受講でき、夏季合宿では面接指導、OB・OG会では先輩の話も直接聞ける。入室料は年間で3000円。



就職指導課/エクステンションセンター

就活の個別相談や面接対策もおまかせ

公務員試験の個別相談に応じる職員が常駐しており、面接カードの添削や2次試験の面接練習も行う。また、就職指導課には公務員インターンシップの公募情報も集まり、公募にかかるようにいろいろ指導してくれる。内定者報告会やOB・OG就職相談会なども随時開催される。場所は10号館2階。



自分が公務員になつて何をしたいか
高い意識と目標を持って臨んでほしい



就職内定者座談会

公務員試験を見事突破した
現役4年生が語る就活リアル体験談

Chapter 2



法律学科4年(百地ゼミ)
濱川 昂さん
内定先
衆議院事務局



法律学科4年(益井ゼミ)
佐巻紗衣さん
内定先
国税専門官[東京国税局]

就職指導課やエクステンションセンターの担当が個別に対応していますが。
太田 私はエクステンションセンターの菅原さんにエントリーシートの添削や面接の練習をしていただきました。いろんな自治体を受けたんですけど、そのたびに毎回新しい質問をしていたので、しっかり対策ができました。
佐巻 私も面接練習ではたいへんお世話になりました。
濱川 僕も菅原さんにエントリーシートの添削と面接の対策をずっとやっていただきました。エクステンションセンターの村上さんにも行政科研究室でずっとお世話になりました。
増田 私も面接練習をすっかりやっていただいて、面接カードの添削も全部見てもらってありがたかったです。
——就職指導課の就職支援行事などは活用されましたか。

佐巻 昨年の11月頃に内定者の方のお話を直接聞ける報告会があって、国税専門官合格者の方のお話を聞いて何となく流れをつかめたり、喝を入れてもらったりしてすごく役に立ちました。
濱川 僕は衆議院事務局という職場自体を知ったのも、就職指導課で開催された業務説明会の時でした。
増田 業務説明会はいろいろな職種の方の話を校内で聞いたので、とてもよい機会だったと思います。
——インターンシップは参加されましたか。公共政策学科では正課の科目と通っていますし、就職指導課でも地方公共団体への募集をしています。
佐巻 私は就職指導課で募集していたインターンシップに応募して、選抜を通ることができて、3年の夏に横浜市役所に行っていました。
太田 私は公共政策学科の正課の科目で3年生の時に東京都の港区役所に10日間のインターンシップに行きました。ひとつの課だけでなく、福祉とか、区民の窓口業務とか、ゆるキャラを使って地域の振興をする課にも行かせていただいて、公務員のいろいろな仕事を学ぶことができました。機会があればぜひ参加したほうがいいと思います。
——ところで皆さんは民間企業との併願はしましたか。
4人 併願はしていません。
——まわりの人達はどうでしたか。
濱川 併願しても民間は2、3社に絞って、中心は公務員という感じでした。3

国家公務員、地方公務員の難関試験に見事合格し、希望する職場への内定を勝ちとった4年生の太田悠介さん、濱川昂さん、佐巻紗衣さん、増田美月さん。公務員試験の勉強を始めた時期、勉強方法、長期にわたる公務員試験を乗り切るための経験者ならではのポイントなどを就職指導課の進行で伺いました。

いなど思っていました。その点、衆議院事務局は、国家の中枢で、この国の将来を左右するような決定がなされている議会を運営して、補佐をしていく仕事であり、自分自身が誇りを持って働けると思い、志望しました。
増田 私の内定先は特別区の練馬区役所です。もともと警察官に憧れたことが公務員の仕事に興味を持ったきっかけだったのですが、区役所は高齢者対策だったり、少子化対策だったり、いろいろな立場から区民の皆さまの生活を支えられるというところに興味を持ちました。私は生まれも育ちも練馬区なので地元で貢献したいと思い、練馬区役所を志望しました。

公務員試験は長く孤独な戦い
仲間やメンタル面も重要
——それでは最後に、公務員試験合格を目指す後輩たちへメッセージを。
佐巻 私のまわりは民間企業を受ける友人が多かったので、すごく孤独な戦いでした。友人たちがまだ就職活動の準備をしていない中で、自分は勉強しなきゃいけないなと、いざ始めると、公務員は民間よりも受けられる試験先が少ないので、1次、2次の間が1か月空いたり、合格発表まで間があったり、待つ時間がすごく長くて、またそこでもすごく孤独でつらかったです。公務員試験は精神面も試される試験だ



法律学科4年(設楽ゼミ)
増田美月さん
内定先
東京都特別区[練馬区役所]



公共政策学科4年(福島ゼミ)
太田悠介さん
内定先
千葉市役所

と思うので、弱気にならずに頑張ってもらいたいと思います。
増田 私は早い段階から公務員1本に絞ってやってきましたが、途中本当に勉強がつかない時期がありました。公務員は長期戦なので、公務員を目指す仲間がいると心強いです。そして直前期は筆記の勉強であまり時間がなかったので、なるべく早い時期から説明会に行ったりして仕事内容や試験内容を調べておいた方がいいです。試験内容をちゃんと把握してなくて受けるのを断念した試験が私にはあったので。長い戦いになります。後悔しないように最後まで諦めずに頑張ってください。
太田 私は公務員試験は情報戦だと思っています。ですから、ゼミや行政科研究室や予備校などで、公務員試験と一緒に受ける仲間をなるべく多く作ることをとくに意識しました。友達が強いていると、自分もやらなきゃというモチベーションの維持にもつながります。仲間と勉強方法などについて情報交換しながら進めることが大事なんじゃないかと思っています。
濱川 公務員試験はとにかく粘り勝負だと思っています。勉強しなければいけない科目だけでも30科目近くあって、その対策に1年は必要だと思っています。筆記が終わったら次は厳しめの面接が待っている。もう本当に長期間の戦いになるので、粘りに粘って勉強していかないといけないんです。メンタルの勝負となるので、後悔が残らないように頑張ってもらいたいと思います。

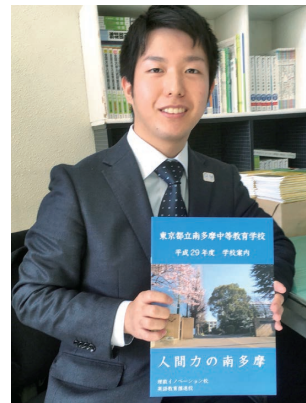
公務員の筆記試験の勉強はいつ頃からスタートしたか
——それぞれの内定先と公務員を志望した理由についてお聞かせください。
太田 内定先は千葉市役所です。私は公共政策学科でまちづくりを学ぶゼミナールに所属して、全国の様々な自治体の取り組みを学んできました。その経験から、地方公務員という仕事に関心を持つようになりました。その点において千葉市役所は、市民参画のまちづくりを力を入れているというところで、私が将来やりたいと思っていたことと一致したのと、やはり地元での市役所で働きたいと思って志望しました。
佐巻 私は国税専門官試験に合格して、東京国税局に内定をいただきました。国税専門官を志望したきっかけは、1年生の時に簿記2級の資格を取得したことが大きかったです。簿記を活かせる仕事は他にもありますが、国税専門官を選んだ理由としては、国に使う税金を徴収する仕事は国税専門官にしかできないので、その専門性の高さ、唯一の仕事である点がすごくやりがいがあるなと思ったからです。
濱川 内定先は衆議院事務局です。私は就職活動をやっている中で、自分自身が誇りを持って働ける職場を選びた

公務員はまずは筆記試験ですが、いつ頃から勉強を始められましたか。
佐巻 私が公務員試験のための勉強を始めたのは2年生からです。2年生から法学部の課外講座の公務員講座を受けました。でも、2年生の時はまだ勉強に身が入らず、3年生の夏ぐらいから真剣に勉強を始めました。
増田 私も2年生から課外講座の公務員講座を受けて、それを4年生まで続けて勉強しました。ただ、本気で取り組み始めたのは3年生の秋頃ですね。3年生になってようやく課外講座以外の時間でも自分で勉強するようになり

法学部では面接対策も親身に個別指導してくれる
——面接対策はどうされましたか。今は公務員の面接もかなり厳しいので、
太田 私は1年生の時に行政科研究室に入ってから、2年生から課外講座も受けたのですが、公務員試験がどんなものなのかを知るぐらいの感覚で、正直言ってまだ本腰は入れてなかったんです。本格的に勉強を始めたのは3年生の11、12月ぐらいです。3年生の4月からは予備校にも通いました。
濱川 僕は公務員を目指したのは1年生の時からで、1年生から行政科研究室に入って4年まで在籍して、3年生の時は代表をやっていました。勉強は、1、2年生の時は行政科研究室に自分の固定席をいただいて勉強して、3年生からは就職指導課がやっている公務員総合職支援講座で予備校に行かせてもらえるコースがありまして、それに選ばれていた。予備校の総合職コースに行っていました。
太田 私は1年生の時に行政科研究室に入ってから、2年生から課外講座も受けたのですが、公務員試験がどんなものなのかを知るぐらいの感覚で、正直言ってまだ本腰は入れてなかったんです。本格的に勉強を始めたのは3年生の11、12月ぐらいです。3年生の4月からは予備校にも通いました。



司会・進行
法学部就職指導課
吉田隆行 課長



東京都庁

梶 雅人さん

2016年
公共政策学科(行政職課程)卒

—公務員をなぜ志望されたのですか。

きっかけは小学校の時に経験したゴミ拾いでした。こうした活動が「地域に、人に、貢献できている」と知ってから、様々な分野において地域の人を支えられる職業に就きたいと考えようになりました。その結果、公務員の道にたどり着きました。東京都を選んだのは、日本を牽引する自治体であり、今後のさらなる発展に携わりたいと思ったからです。

—現在の仕事の内容を教えてください。

東京都立の南多摩中等教育学校経営企画室で、経理を担当しています。間接的ではありますが、今後世界に飛び立って行くであろう子供たちの教育をサポートできる点が魅力であり、やりがいです。教員や生徒たちとのコミュニケーションも楽しいです。

—公務員を目指す後輩に勉強のポイント、応援メッセージを。

私は大学に入学した時点から公務員を目指していたので、公務員試験の勉強は1年生からやっていました。行政科研究室に入室し、課外講座の公務員講座、校内で行われる模擬試験などを最大限に活用しました。正課科目のインターンシップにも参加しました。とくに公務員講座は外部の予備校より受講料がかなり安いので非常にオススメです。それぞれ先生や講師の方々にアドバイスをもらえるので助かりました。勉強をするうえで工夫した点は、量より質。ダラダラやるよりも一気に集中することで、短時間での知識定着を図りました。

自分で決めた道、信念は貫き通してください。今はそのために勉強やボランティアなど様々なことにチャレンジしてみてください。きっと自分の糧になって将来役に立ちます！



横浜市役所

高麗雄一朗さん

2016年
公共政策学科(行政職課程)卒

—公務員をなぜ志望されたのですか。

父親が公務員で、小さい頃から市民、区民の方々のために働くという仕事に興味がありました。また自分自身がボランティアサークルに所属し、人の助けになるような仕事をしたいと漠然と感じていました。そうした中で、大学で都市政策を学ぶゼミに入り、地域の様々な課題を解決していくうえで公務員の果たす役割の大きさを学び、公務員を志望しました。

—現在の仕事の内容を教えてください。

現在は横浜市金沢区福祉保健センターで介護保険の認定担当として、介護保険を利用している方の現状を資料にまとめ、介護度を決定する審査会という会議を開催する仕事をメインに行っています。介護保険という今まで触れたことのない分野であり、毎日が勉強です。また介護施設と利用者の橋渡しを行う介護相談員の方々の担当もしており、介護相談員さんの広報誌なども作成しています。

—公務員を目指す後輩に勉強のポイント、応援メッセージを。

勉強は大学1年から行政科研究室に入り、少しずつ始めました。正課のインターンシップも受講し、公務員の仕事を間近に見ることができたのはとても良い経験でした。課外講座の公務員講座では、公務員予備校と同様の授業やサービスを格安で受けることができ非常にありがたかったです。公務員試験はゴールまでの距離がとても長く感じる事が多々あり、挫折しかけることもあると思いますが、地道にコツコツとやることが公務員試験突破の一番の近道だと思います。そして、少ない時間でも毎日勉強をすることで空き時間を作って、学生時代にしかできないいろいろな経験をしてください。その経験も最終的に面接などで役立ちます。

—現在の仕事の内容を教えてください。

現在は保育課に所属しており、主に保育所の入退所業務に関わっています。窓口や電話で入所の相談を受け、要望を聞く中で、厳しいお言葉をいただくこともあります。「ありがとう」「助かりました」と言っていたいた時には、「もっと頑張ろう」とモチベーションを高めることができます。

—平居さんは育児休暇中と伺っていますが。

私は現在、産前産後休暇を経て、育児休暇中です。職場の理解もあり、スムーズに休暇を取得することができ、安心して出産することができました。復帰後も、子供の看護休暇や時間単位で取れる休暇もあり、女性が働きながら子育てをしていくことにとっても理解のある職場です。

—公務員を目指す後輩に勉強のポイント、応援メッセージを。

私は勉強のスタートは2年生の課外講座の公務員講座受講からです。講座で使用されたテキストなどを、とにかく繰り返し勉強しました。とくに面接練習を何度もすることができたので、心の準備もでき、試験当日には落ち着いて受けることができ本当に心強かったです。市役所は多くの分野の仕事があり、様々な経験をすることができます。住民の方の声を直に聞くことができ、日々多くの人と出会い、発見があり、やりがいを感じて働いています。長い就職活動では、くじけそうになることもあると思いますが、自分を信じ、頑張ってください。



高崎市役所

平居梨沙さん

2012年
政治経済学科卒

—公務員をなぜ志望されたのですか。

将来は人の役に立つ仕事がしたいと思っていました。そして市役所では、ひとつの分野だけではなく、幅広い分野を取り扱い、様々な場面で住民の方々と密接に関わることができると思い、志望しました。

法学部OB・OG インタビュー

～仕事のやりがい、そして後輩たちへの就活メッセージ～

厳しい公務員試験を乗り越え、社会に貢献する公務員として誇りを持って働きはじめた法学部OB・OGの皆さん。公務員と一口に言ってもその職務内容は実に多種多様。そこで今回は、現在の仕事の内容や公務員を志した理由をはじめ、勉強を始めた時期や勉強のポイント、そして公務員試験に臨む後輩たちへのアドバイスを伺いました。



郡山市役所

芳賀奈津美さん

2015年 公共政策学科(行政職課程)卒

—公務員をなぜ志望されたのですか。

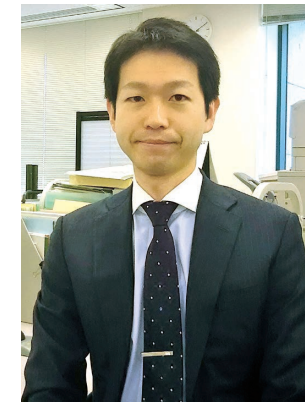
こどもからお年寄りまですべての人を対象とし、あらゆる面から人々の生活の基盤を支える仕事がしたいと思ったからです。その中でも市役所を希望したのは、ゼミで全国の自治体の政策を研究していく中で、市民・民間企業・NPO団体など、行政だけではなく様々なアクターと協働して地域の特性を生かした“まちづくり”ができることに魅力を感じました。

—現在の仕事の内容を教えてください。

こども支援課の給付係に所属し、主に児童手当の支給に関する事務を担当しています。窓口で市民の方と接していると、行政の手続きと聞いただけで、難しい・面倒そうといった印象を持たれる方がとても多いです。そのため、市民の方が抱えている不安や不満を、来庁した時よりも少なくできるように、相手に寄り添って話を聴くこと、分かりやすいように丁寧な説明をすることを心がけています。

—公務員を目指す後輩に勉強のポイント、応援メッセージを。

私は1年生から課外講座の公務員講座を受講しました。先輩との座談会で勉強法や悩みを相談したり、集団討論や集団面接の練習もとても役立ちました。3年生の時には千代田区でインターンシップをやらせていただき、現場を知ることで、公務員になるぞという気持ちをさらに高められました。公務員試験は試験科目も多く、先の見えない勉強の日々はとても不安になります。最後までモチベーションを保つコツは、試験に合格することをゴールにせず、公務員になったら自分が何をしたいのかを明確にし、働いている自分を想像してみることだと思います。独りで乗り越えようと思わず、公務員を目指す仲間と励まし合いながら最後まで諦めず頑張ってください！



総務省
大臣官房秘書課

辻本裕之さん

2007年
法律学科卒

—公務員をなぜ志望されたのですか。

大学のゼミで地方自治体の都市政策を学んでいたことから、自治体の政策に興味を持ち、地方自治を所管する総務省を志望しました。自治体や他省庁の説明会にも参加しましたが、自分たちの仕事を熱く語る総務省の先輩達に惹かれたことが最大の決め手となりました。

—現在の仕事の内容を教えてください。

現在は、大臣官房秘書課で地方自治に関する叙職などの表彰業務を担当しています。入省して10年目ですが、これまでに、総務省では自治体財政に関する業務、人事に関する業務、幹事の秘書業務など幅広い経験をさせてもらいました。また、静岡県庁に出向した2年間は、県内市町村の財政に関する業務などを経験し、国の制度が地方でどのように運用されているかを肌で感じる事ができ貴重な財産となりました。国家公務員としての仕事の魅力は、スケールの大きさだと思います。自分たちが制度設計したものが日本全国に広がっていくので責任は重大ですが、仕事の達成感は何ものにも代え難いものです。

—公務員を目指す後輩に勉強のポイント、応援メッセージを。

公務員試験の勉強は長丁場なので、各省庁や自治体の説明会に参加したり、OB・OG訪問をしてモチベーションを維持することが大切です。また筆記試験に合格することが前提ですが、その後の面接試験が重要です。ゼミでのプレゼンなどを通じて、人前で話すことに慣れておくとうれしいと思います。

公務員も国家公務員や地方公務員、地方公務員の中でも警察官や消防士など幅広い職種があります。大学時代はたくさんの時間があるので、いろいろな人の話を聞いて、自分に合った職種を見つけてください。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

平成28年度 法学部保護者懇談会が全国7会場で開催されました

去る10月15日(土)と10月22日(土)・23日(日)に、法学部保護者懇談会が全国7会場で開催されました。

保護者懇談会は、日頃、大学まで足を運ぶことができない全国各地の保護者の皆様からのご要望にお応えして、法学部教職員が各地に赴き、法学部の教育内容や就職進路支援などについてご理解いただき、学生の学業成績や学生生活、就職活動などについて個別に相談していただくことを目的とするものです。

昨年度、東京・仙台・高崎・名古屋・福岡の全国5会場で開催したのに続き、今年度は東京・札幌・郡山・長野・宮崎・三島・大阪の7会場で開催に拡大し、総計500名を超える保護者にご参加いただきました。各会場とも、成績、海外留学、資格取得、就職活動、奨学金など、学生の現在の学生生活や将来の進路について熱心に質問されていました。

来年度の実施につきましては、決まり次第、法学部ホームページなどでお知らせいたします。



東京会場



長野会場



札幌会場

開催日	会場
10月15日(土)	東京会場 日本大学法学部 本館
	札幌会場 京王プラザホテル札幌
	郡山会場 郡山ビューホテル
10月22日(土)	長野会場 ホテルサンルート長野
	宮崎会場 宮崎観光ホテル
	三島会場 日本大学国際関係学部 三島駅北口校舎
10月23日(日)	大阪会場 新大阪ワシントンホテル

海外学術交流提携校

ドイツ・ベルリン自由大学を表敬訪問しました

11月1日に池村正道学部長、小田司教授(国際交流委員長)他がドイツ(ベルリン)のベルリン自由大学を表敬訪問し、両校の学術交流についての協議を行いました。ベルリン自由大学からは、ベルリン自由大学法学部長、法学部教授陣が出席。今後両校が大学院生の交換および教員の招へいを契機に、ますます交流を進展させていくことが重要であるとの認識で一致しました。



ベルリン自由大学からは法学部長のChristian Armbrüster教授をはじめ法学部教授陣が出席。

ドイツ国内最大級の総合大学。(写真はベルリン自由大学法学部)

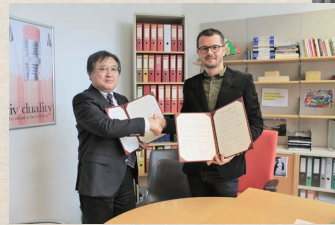
海外学術交流提携校

ウィーン大学と学術交流に基づく語学研修実施の覚書を結びました

11月2日に池村正道学部長、小田司教授(国際交流委員長)他がオーストリア(ウィーン)のウィーン大学を訪問し、学術交流に基づくドイツ語研修の実施に関する覚書の調印を行いました。今後、海外語学研修を契機に、両校の学生および教職員の交流をさらに発展させていくことが重要であるとの認識で一致しました。

学生のドイツ語研修は、2017年8月から3週間の予定で実施されます。

ウィーン大学からはBernhard Wundsam氏(ウィーン大学イノベーション・センター長)が出席。



1365年創立のドイツ語圏最古の大学。(写真はウィーン大学本館)

就職指導課がお答えします 保護者の皆様からの

就活 Q&A

公務員編

Q 子供には公務員を目指してほしい。どうアドバイスすれば…

A 公務員、とくに地方公務員は親が子供に就いてほしい職業で常に上位に入っており、また筆記試験による選考であるとのイメージから、親御さんが希望されるのわかります。ただ、親世代の「安定しているから」という理由だけで子供さんに勧めると、今の公務員の現状は昔とはまったく違ってきているので、試験勉強中や入ってからギャップを感じるようになるでしょう。公務員試験も、今は筆記試験だけでなく面接で落ちてしまうので、

Q コミュニケーション能力をつけることも重要です。自分が公務員になつて何をしたいのか、なぜ公務員になりたいのか。高い意識を持つて臨むように、子供さんとよく話し合ってください。

A 公務員試験は独学で勉強するのはなかなか難しいので、予備校へ通う学生も多いですが、経済的な負担はかなり大きくなります。法学部の課外講座「公務員講座」なら、大手有名予備校と提携し、予備校の講師による授業を安価で受けられます。入門編から直前対策まで数コースあり、受講料は大学からの補助により、約8か月間の基礎コースで2万円と予備校の1割程度。模擬試験も無料で受けられ、就職指導課やエクステンションセンターでは面接の個別練習も行っています。また、学生研究室「行政科研究室」では年間3千円の入室料で無料の講座や自習室に固定席を持つことができます。さらに公共政策学科では正課の授業に加え、インターシッパや行



就職指導課によるOB・OG就職相談会

Q 公務員試験の併願や民間企業との併願は、可能でしょうか。

A 公務員は筆記試験日が異なれば併願はもちろん可能ですが、たとえば地方公務員なら府県庁・政令指定都市・市役所A日程が例年同日実施ですので併願数は限られてきます。詳細は担当職員にご相談を。民間との併願も可能ですが、公務員は筆記試験の勉強にかなりの時間が必要で、併願することで時間も力も分散してしまうとの考えから、公務員1本に絞ることが多いようです。併願する場合は、民間のほか、独立行政法人等を検討してみてください。

Q 政博ランティアなどの紹介を親身になつて行います。費用面でも内容面でも、子供さんを安心してお預けいただける環境が法学部にはすべて整っています。ご助言をお願いします。

Q Uターンして地元で公務員になつてほしいのですが。

A 生まれ育った土地で公務員として働いてくれれば、という親御さんのお気持ちは理解できます。ただ、地方からの情報発信は限定的なことが多いので、とくに地元でのインターシッパ参加を希望する場合は、本人が直接問い合わせるなど能動的な行動が大切になります。また、地方の場合は帰省の費用もかさみますので、ご家族のサポートをお願いします。

Q 公務員試験についてなんでも相談できる窓口はありますか。

A 就職指導課やエクステンションセンターには公務員試験のノウハウを持った専門職員が常駐。わからないことがあったら相談に行くように子供さんにご助言ください。親身になって対応します。また、4年生の公務員試験合格者や公務員のOB・OGと直接話ができる相談会などの情報もこまめにチェックして、ぜひ足を運ぶようにお伝えください。